

発表日	セッション名	セッションタイトル	演題番号	登録番号	氏名	1.筆頭著者の所属機関名	日本語演題名
11月14日(水)	一般演題1	疾病教育・服薬指導・アドヒアランス	01-1	10147	櫻井勇希	慶應義塾大学病院看護部	入院中の服薬指導によるアドヒアランスの改善がその後の患者-医療者関係に与える影響について
			01-2	10160	藤田雅也	医療法人社団城東桐和会篠崎駅前にこにこクリニック	統合失調症服薬アドヒアランスについてBrexiprazole(BRX)とAripiprazole long acting injectio(ALAI)による患者主観調査
			01-3	10241	杉本篤言	新潟大学大学院医歯学総合研究科地域精神医療学講座	児童精神科外来での薬剤師による服薬指導が患児のアドヒアランスに与える影響について
			01-4	10223	富田哲	弘前大学大学院医学研究科神経精神医学講座	抗うつ薬服用患者のうつ病理解における医療機関毎の差と特徴について
	一般演題2	薬物動態学・予測モデル	02-1	10210	佐々木太郎	獨協医科大学精神神経医学講座	VenlafaxineおよびO-desmethylvenlafaxineの鏡像異性体の薬物動態学的解析
			02-2	10081	坂田睦	医療法人優なぎ会 雁の巣病院	気分安定薬の適正使用と処方支援に向けた薬物動態モニタリングからの介入
			02-3	10093	吉田和生	慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室	抗精神病薬誘発性体重増加の予備的多遺伝子予測モデル
			02-4	10058	杉田円香	熊本大学大学院生命科学研究部薬物治療学分野	小児てんかん患者におけるバルプロ酸誘発性BMI変動予測モデルの構築
	一般演題3	脳画像・バイオマーカー	03-1	10076	ARAKAWARYOSUKE	Department of Clinical Neuroscience, Center for Psychiatry Research, Karolinska Institutet and Stockholm County Council	PETおよび[18F]FMeNER-D2を用いたうつ病患者におけるベンラファキシン徐放剤のノルエピネフリントランポーター占有率
			03-2	10146	小泉輝樹	慶應義塾大学精神神経科	統合失調症患者における幻聴体験と抗精神病薬によるドパミンD2受容体遮断の関連
			03-3	10204	久保田学	量子科学技術研究開発機構・放射線医学総合研究所・脳機能イメージング研究部	前頭側頭葉変性症における脳内タウ蓄積および代謝型グルタミン酸受容体5型の変化に関するPET研究
			03-4	10073	谷英明	慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室	うつ病および統合失調症患者における対人葛藤刺激に対する情動制御の特徴
	一般演題4	疫学・調査・症例報告	04-1	10036	種村菜奈枝	慶應義塾大学薬学部医薬品開発規制科学講座	小児患者における向精神薬の適応外使用に関する実態調査 -薬局調剤レセプトデータベースを用いた後ろ向きコホート研究-
			04-2	10153	村田篤信	慧真会 協和病院 薬剤科	リハビリに着眼した費用対効果評価による非定型抗精神病薬の治療戦略に関する考察
			04-3	10047	中村優	医療法人更生会草津病院内科	精神疾患患者における排便機能異常に対するプロバイオティクスの影響
			04-4	10072	河邊憲太郎	愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座	グアンファシン塩酸塩徐放錠が有効であったTourette障害とADHDを合併した1例
	一般演題5	統合失調症1	05-1	10050	大西隆	ヤンセンファーマ株式会社メディカルアフェアーズ本部	統合失調症におけるネットワーク障害: グラフ理論による解析
			05-2	10053	久保馨彦	鶴が丘ガーデンホスピタル	統合失調症患者におけるプラセボ経口薬への反応予測: 無作為化比較試験データ再解析
			05-3	10114	溝江菜央	山梨県立北病院	維持期治療において第2世代持効性注射製剤投与例の抗精神病薬用量は変化するのか?
			05-4	10119	八重樫穂高	山梨県立北病院	忍容性不良を理由に第2世代抗精神病薬LAI (long-acting injection)を中断した25例の検討
	一般演題6	統合失調症2	06-1	10034	田中康平	独立行政法人 山梨県立北病院	山梨県立北病院における持効性注射製剤(LAI)に関するMirror Image調査
			06-2	10219	三浦元太郎	大泉病院	経口抗精神病薬と抗精神病薬持効性注射剤(LAI)の入院予防効果の比較: 双方向ミラーイメージ試験
			06-3	10234	下島里音	新潟大学医歯学総合病院総合臨床研修センター	統合失調症患者における退院時DAI-30 (Drug Attitude Inventory-30) 値と退院後1年以内再入院との関係
			06-4	10121	中島望	山梨県立北病院	クロザピン投与中に消化管穿孔が生じた4例

発表日	セッション名	セッションタイトル	演題番号	登録番号	氏名	1.筆頭著者の所属機関名	日本語演題名
11月15日(木)	一般演題7	抗精神病薬	07-1	10079	中村優	医療法人更生会草津病院内科	新規セロトニン-Dパミン アクティビティ モジュレーター(SDAM)プレクスピラゾールの実地臨床における代謝指標ならびにプロラクチン値に与える影響
			07-2	10104	山本蓮華	岡山県精神科医療センター	クロザピン治療における血中濃度測定的重要性:日本人の治療抵抗性統合失調症を対象とした横断研究
			07-3	10149	三澤史斉	山梨県立北病院	クロザピンと他の第2世代抗精神病薬との有効性と安全性の比較:コホート研究のシステマティックレビュー及びメタ解析
			07-4	10230	水野裕也	キングス・カレッジ・ロンドン精神医学研究所精神病研究部門	治療抵抗性統合失調症における抗精神病薬の効果の多様性:メタ解析
	一般演題8	抗うつ薬	08-1	10088	住吉太幹	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所児童・予防精神医学研究部	大うつ病性障害患者における認知機能と抑うつ症状及び心理社会的機能の関連:PERFORM-Jのベースラインデータを用いた横断研究
			08-2	10109	富田哲	弘前大学大学院医学研究科神経精神医学講座	うつ病治療の早期反応はどの症状に注目すべきか
			08-3	10139	砂田尚孝	関西医科大学精神神経科	大うつ病性障害患者における海馬体積関連Glycogen synthase kinase-3β一塩基対多型と新規抗うつ薬による治療反応との関連性
			08-4	10179	石井沙安也	獨協医科大学精神神経科学講座	ノルトリプチリン・パロキセチンによって薬剤性抗利尿ホルモン不適合分泌症候群が惹起されたうつ病患者に対するミアンセリンの有用性
	一般演題9	睡眠・アルコール	09-1	10026	内田貴仁	慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室	精神科外来通院患者におけるベンゾジアゼピン系睡眠薬とアルコールの同時使用の実態及び関連する精神症状について
			09-2	10042	上野文彦	独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター	ヒトの精神運動機能へのアルコール・アセトアルデヒドの影響:健常者におけるクランプ試験からの知見
			09-3	10247	神田優太	杏林大学 医学部 精神神経科学教室	睡眠中体動時の短時間の頻脈について
			09-4	10266	神田優太	杏林大学医学部神経科学教室	大うつ病性障害患者における向精神薬と終夜睡眠ポリグラフ検査における睡眠指標との関連の検討
	一般演題10	臨床研究1	010-1	10030	小田陽彦	兵庫県立ひょうごこころの医療センター	過去に行われた抗認知症薬臨床試験に関する検証
			010-2	10029	石飛信	医療法人社団東京愛成会高月病院	うつ病相に限局して発作性運動誘発性ジスキネジアを呈した大脳基底核石灰化症を有する双極性障害の1例
			010-3	10033	栗田征武	名取駅西口クリニック	ノルアドレナリンは双極性障害において躁状態とうつ状態の治療に重要な役割を果たす
			010-4	10059	佐藤瑠美子	医療法人篤仁会富士病院	ドネペジル処方中のアルツハイマー病のBPSD増悪に対してメマンチンへの変更が有効であった一例
	一般演題11	臨床研究2	011-1	10098	佐藤瑠美子	医療法人篤仁会富士病院	薬剤性の認知機能低下の合併が疑われるアルツハイマー病の一例
			011-2	10240	松森嘉織好	玉川大学脳科学研究所	指数型バイアス付きベイズ推定による疾患横断的な計算論的精神医学モデル
			011-3	10120	古家宏樹	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神薬理研究部	新生仔期ラットへのNR2A選択的拮抗薬慢性投与は成体期に統合失調症様行動異常を引き起こす
	11月16日(金)	一般演題12	臨床研究3	012-1	10020	伊藤侯輝	北海道大学大学院医学研究院(専門医学系部門)神経病態学分野精神医学教室
012-2				10054	大井一高	金沢医科大学 精神神経科学	染色体15q25領域における喫煙量と統合失調症双方に関わる遺伝子多型は脳でのCHRNA5遺伝子発現を制御する
012-3				10157	りばまるこ	Pharmacology at the University of Milan	動物モデルを用いたプロナンセリンの抗ストレスおよび神経可塑性に対する作用の評価
012-4				10077	肥田裕文	名城大学大学院薬学研究科病態解析学I	統合失調症様モデルマウスの社会性行動障害に対するプロナンセリンの作用:ドパミンD3受容体の関与
一般演題13		臨床研究4	013-1	10101	三島零	北里大学薬学部薬理学研究室	δオピオイド受容体逆作動薬SYK-623慢性投与はストレスによる学習記憶障害の誘発を抑制する
			013-2	10113	中村庸輝	広島大院・医歯薬保健学研究科・薬効解析科学	シグマ-1 受容体は ADP-Ribosylation Factor 6 を介して細胞外ベシクル遊離量を調節する
			013-3	10018	貝谷久宣	医療法人和楽会、パニック症研究センター	不安・抑うつ発作(1) - DRD4仮説
			013-4	10019	貝谷久宣	医療法人和楽会、パニック症研究センター	不安・抑うつ発作(2) - 拒絶過敏性うつ病のオピオイド仮説
一般演題14	融合研究	014-1	10112	中島振一郎	慶應義塾大学医学部精神神経科	大うつ病性障害におけるグルタミン酸作動性神経代謝物:プロトン磁気共鳴分光法の系統的レビューとメタ分析	
		014-2	10217	國石洋	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所精神薬理研究部	ストレスはマウスの眼窩前頭皮質-扁桃体および前部帯状回-扁桃体経路のシナプス伝達に異なる影響を与える	
		014-3	10211	中本賀寿夫	神戸学院大学薬学部臨床薬学研究室	幼少期ストレス負荷マウスの脳内各種オピオイド受容体の発現変化	

発表日	セッション名	セッションタイトル	演題番号	登録番号	氏名	1.筆頭著者の所属機関名	日本語演題名
11月14日(水)	ポスター1	認知症・せん妄	P1-1	10037	青木岳也	医療法人扶老会扶老会病院	排尿障害およびパリスムを伴う認知症の行動・心理症状に対してasenapineが効果を認めた1例
			P1-2	10048	青木岳也	医療法人扶老会扶老会病院	認知症の行動・心理症状3例に対するbrexpiprazoleの使用経験
			P1-3	10214	越智紳一郎	愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学	施設入所中の認知症患者における周辺症状に対するtandospironeの有効性の検討～第2報～
			P1-4	10255	稲川拓磨	研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター	認知症及び軽度認知障害の認知機能に対する反復経頭蓋直流電気刺激の効果に関するメタ解析
			P1-5	10235	井田逸朗	国立病院機構高崎総合医療センター	せん妄に対するperospirone2回分割投与法の効果
	ポスター2	統合失調症1	P2-1	10004	佐藤優真	秋田大学大学院医学系研究科医学専攻病態制御医学系精神科学講座	クロザピンを投与中に抗好中球細胞質抗体陽性となった治療抵抗性統合失調症の2例
			P2-2	10013	萩勝彦	大日本住友製薬株式会社メディカルアフェアーズ部	統合失調症患者における心血管系リスク因子と認知機能障害の関連: 系統的レビューとメタ解析
			P2-3	10046	桐野創	山梨県立北病院	多飲症の診断基準・評価尺度の信頼性・妥当性および抗精神病薬との関係の検討
			P2-4	10070	熊谷迪亮	川崎市立川崎病院精神科	抗精神病薬持効注射剤の治験におけるプラセボ反応を予測する因子の検討: 無作為化比較試験4報を用いた事後解析
			P2-5	10025	齋藤雄太	慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室	統合失調症の残存症状による再発予測: PROACTIVE研究の再解析
	ポスター3	統合失調症2	P3-1	10049	大西隆	ヤンセンファーマ株式会社メディカルアフェアーズ本部	使用実態下におけるパリペリドンパルミチン酸エステル持効性懸濁注射液治療による社会機能、就労・就学状況への効果
			P3-2	10052	大西隆	ヤンセンファーマ株式会社メディカルアフェアーズ本部	統合失調症における白質繊維障害: 新しい解析手法local connectometryの応用
			P3-3	10237	有波浩	新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野	統合失調症の重症度と血清IGF-1値及びcortisol値との関連
			P3-4	10062	窪田幸久	中央公園クリニック	外来統合失調症の持効性注射剤の長期使用における有用性と安全性の検討—QOL向上とリカバリーを目指した治療のために—
	ポスター4	統合失調症3	P4-1	10075	阿竹聖和	産業医科大学医学部精神医学教室	慢性統合失調症の認知機能に影響を及ぼす因子について
			P4-2	10078	高橋希衣	東京都済生会中央病院	統合失調症患者における薬物療法に対するニーズおよび主治医によるその把握: 横断調査
			P4-3	10141	嶋田貴充	金沢医科大学医学部精神神経科	統合失調症患者、統合失調症第1度近親者および健常者間における社会機能の差異について
			P4-4	10158	片岡譲	金沢医科大学精神神経科学	統合失調症、第一度近親者および健常者間における遂行機能の差異について
			P4-5	10000	俊野尚彦	医療法人財団光明会明石こころのホスピタル精神科	統合失調症患者における性ホルモン値変動の影響
	ポスター5	統合失調症4	P5-1	10197	常山暢人	新潟大学医歯学総合病院精神科	うつ病の重症度と血清prolactin濃度との関連
			P5-2	10083	本木和美	ヤンセンファーマ株式会社	パリペリドン徐放錠の製造販売後調査における患者満足度と安全性
			P5-3	10099	小野里磨優	東邦大学薬学部薬品分析学教室	精神病発症危険状態(ARMS)における血清中グルコース代謝物濃度の比較解析
			P5-4	10148	仲田祐介	千葉大学大学院医学研究院精神医学教室	治療抵抗性統合失調症の自閉症的特性: 統合失調症と自閉症スペクトラム障害の横断的研究
			P5-5	10008	金子春香	星ヶ丘病院	Aripiprazoleにて性欲亢進を呈した統合失調症の一例

発表日	セッション名	セッションタイトル	演題番号	登録番号	氏名	1.筆頭著者の所属機関名	日本語演題名
11月14日(水)	ポスター6	治療抵抗性統合失調症・クロザピン	P6-1	10110	岩田祐輔	トロント大学医学部精神科	クロザピン抵抗性統合失調症患者の脳内グルタミン酸濃度
			P6-2	10132	菊池結花	秋田大学医学部精神科	クロザピンによる振戦、ミオクローニー発作、強直間代発作に対するペランパネルの有効性に関する検討
			P6-3	10185	藤本美智子	大阪大学大学院医学系研究科精神医学教室	統合失調症患者のクロザピン治療による中間表現型の変化
			P6-4	10199	垂水良介	慶応義塾大学医学部精神・神経科学教室	治療抵抗性統合失調症における脳内グルタミン酸濃度:1H-MRSを用いた横断研究
			P6-5	10290	稲田健	東京女子医科大学医学部精神医学講座	CPMS(Clozapine Patient Monitoring Service)データに基づく日本のクロザピン使用実態
	ポスター7	抗精神病薬1	P7-1	10192	黒瀬心	慶應義塾大学医学部精神神経科	抗精神病薬の脳内ドパミンD2受容体占拠率と血中濃度の時間経過に関するシステマティック・レビュー
			P7-2	10011	渡邊純蔵	新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野	第二世代抗精神病薬が自律神経活動に与える影響
			P7-3	10014	岸太郎	藤田保健衛生大学医学部精神神経科	統合失調症に対するブロナンセリンの有効性と安全性の検討: ランダム化比較試験の系統的レビューとメタ解析
			P7-4	10056	尾久守侑	慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室	臨床症状によるアセナピンの治療反応予測
			P7-5	10125	堀越翔	福島県立医科大学医学部神経精神医学講座	うつ病増強療法におけるアリピプラゾール低用量群と高用量群のランダム化比較試験-血漿ドパミン代謝産物濃度と治療反応性との関連-
	ポスター8	抗精神病薬2	P8-1	10015	萩勝彦	大日本住友製薬メディカルアフェアーズ部	統合失調症患者の認知機能に対する抗精神病薬の効果: 系統的レビューとメタ解析
			P8-2	10022	萩勝彦	大日本住友製薬メディカルアフェアーズ部	アジア人統合失調症患者におけるルラシドンの安全性・忍容性: Ph3試験2試験のプール解析結果
			P8-3	10023	萩勝彦	大日本住友製薬株式会社メディカルアフェアーズ部	統合失調症患者に対するルラシドンの有効性: プラセボ対照ランダム化比較試験の系統的レビューとメタ解析
			P8-4	10024	萩勝彦	大日本住友製薬株式会社メディカルアフェアーズ部	統合失調症患者に対するルラシドンの安全性・忍容性: プラセボ対照ランダム化比較試験の系統的レビューとメタ解析
			P8-5	10067	一瀬瑞絵	福島県立医科大学医学部神経精神医学講座	複数の抗精神病薬で持続勃起障害がみられた統合失調症の一例
	ポスター9	抗精神病薬3	P9-1	10057	浅野圭介	公益財団法人井之頭病院	統合失調症患者における抗精神病薬持続性注射剤中断者のその後の処方: 診療録調査(第一報)
			P9-2	10071	石郷岡純	CNS薬理研究所	「ドパミンD₂アンタゴニストから部分アゴニストへの切り替えは慎重さが必要」-統合失調症患者を対象としたブレクスピプラゾールの長期投与試験における切り替え例に関する追加解析-
			P9-3	10092	樋口輝彦	日本うつ病センター	Blonanserinテープ製剤(DSP-5423P)の急性期統合失調症患者を対象とした検証的試験[第3相試験]
			P9-4	10096	石郷岡純	CNS薬理研究所	Blonanserinテープ製剤(DSP-5423P)の統合失調症患者を対象とした長期投与試験[第3相試験]
			P9-5	10106	服部早紀	横浜市立大学精神医学教室	アリピプラゾールによる自律神経活動低下とABC11遺伝子多型の関連
	ポスター10	抗精神病薬4	P10-1	10107	鳥山和宏	ノバルティスファーマ株式会社メディカル本部	治療抵抗性統合失調症患者を対象としたクロザピンの製造販売後調査結果 其の1 概要
			P10-2	10108	鳥山和宏	ノバルティスファーマ株式会社メディカル本部	治療抵抗性統合失調症患者を対象としたクロザピンの製造販売後調査結果 其の2 重点調査事項の詳細
			P10-3	10115	曾我綾華	大塚製薬株式会社ファーマコヴィジランス部	統合失調症患者に対するaripiprazol LAIの安全性及び有効性の検討-特定使用成績調査(ALISE study)の中間報告
			P10-4	10131	辻野尚久	東邦大学医学部精神神経医学講座	本邦におけるクロザリル患者モニタリングサービス(CPMS)登録医療機関数の地域差についての検討
			P10-5	10150	小野信	新潟大学大学院医歯学総合研究科地域精神医療学寄附講座	HDLコレステロール値と抗精神病薬との関連について

発表日	セッション名	セッションタイトル	演題番号	登録番号	氏名	1.筆頭著者の所属機関名	日本語演題名
11月15日(木)	ポスター11	不安・睡眠・ベンゾジアゼピン	P11-1	10035	竹内裕子	MSD株式会社メディカルアフェアーズ	日常診療下におけるスボレキサントの高齢者への投与実態-使用成績調査から-
			P11-2	10038	安川節子	医療法人山田会八代更生病院	非けいれん性てんかん重積発作の一例ジアゼパム静脈注射と脳波変化に関して
			P11-3	10064	川島義高	国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 精神薬理研究部	不安を主症状とする精神疾患に対するRiluzoleの効果についての検討:システムティックレビュー
			P11-4	10143	別府拓紀	産業医科大学医学部精神医学教室	認知症患者における長期投与ベンゾジアゼピン系睡眠薬減薬の試み
			P11-5	10233	石岡雅道	湊病院	精神科通院患者と精神科医双方向におけるベンゾジアゼピン系抗不安薬・睡眠薬についての知識と評価の調査
	ポスター12	うつ病・抗うつ薬1	P12-1	10224	久保一利	弘前大学大学院医学研究科神経精神医学講座	パーソナリティ特性と抗うつ薬の服薬継続との関係
			P12-2	10238	南畝晋平	兵庫医療大学薬学部	P糖タンパク質遺伝子のメチル化とパロキセチン効果発現との関連~全ゲノム網羅的メチル化解析より~
			P12-3	10242	船槻紀也	関西医科大学医学部精神神経科学講座	幼少期の虐待の既往とうつ病の治療反応性の相関 ~Genotype Utility Needed for Depression Antidepressant Medication (GUNDAM) studyより~
			P12-4	10243	内藤みなみ	関西医科大学総合医療センター精神神経科学講座	大うつ病患者における抗うつ薬の治療反応性に性格傾向が与える影響の検討 -GUNDAM studyより-
			P12-5	10248	越川陽介	関西医科大学精神神経科学教室	うつ病患者の長期的治療経過を探る-RCTベースの2年間の調査-
	ポスター13	うつ病・抗うつ薬2	P13-1	10208	柳田知世	関西医科大学医学部精神神経科	うつ病患者におけるミルタザピンとSSRIの治療反応とABC11遺伝子多型の関連-GUNDAM studyより-
			P13-2	10232	香月あすか	産業医科大学医学部精神医学教室	うつ病患者の抗うつ薬治療による症状寛解と海馬垂区域体積の変化の関連
			P13-3	10253	緒方治彦	関西医科大学精神神経科教室	高齢うつ病患者における、SSRIとmirtazapineの有用性の比較~Genotype Utility Needed for Depression Antidepressant Medication (GUNDAM) studyより~
			P13-4	10257	高野謹嗣	関西医科大学精神神経科	早期部分改善(EPI)は高齢者うつ病においても有用な治療反応予測因子となるか?-3無作為比較試験の結果より-
			P13-5	10260	横井優磨	国立精神・神経医療研究センター	大うつ病性障害患者に対するセカンドライン治療における新規抗うつ薬の継続性の評価:多施設共同非盲検無作為化可変用量長期投与試験による検討
	ポスター14	うつ病・抗うつ薬3	P14-1	10209	澤田恭助	慶應義塾大学医学部精神神経科学教室	うつ病の主観的認知機能低下に及ぼす主観的・客観的寛解の影響の比較
			P14-2	10218	中村善文	昭和大学医学部精神医学講座	スーパー救急病棟における大うつ病性障害の退院阻害因子
			P14-3	10239	鈴木雄太郎	新潟大学大学院医歯学総合研究科精神医学分野	血清cortisol値はうつ病治療反応性の予測マーカーとなり得るか?
			P14-4	10267	今村弥生	杏林大学医学部精神神経科学教室	難治性うつ状態における患者家族の感情表出と薬物療法との関連性の検討
			P14-5	10268	野崎和博	杏林大学医学部精神新家科学教室	治療抵抗性うつ状態の重症度と関連する要因の検討
ポスター15	双極性障害・気分安定薬	P15-1	10016	萩勝彦	大日本住友製薬メディカルアフェアーズ部	双極性障害うつ症状に対する抗精神病薬の有効性と安全性評価: プラセボ対照ランダム化比較試験の系統的レビューとネットワークメタ解析	
		P15-2	10065	加藤忠史	理化学研究所脳神経科学研究センター精神疾患動態研究チーム	双極I型障害の抑うつエピソード患者を対象としたルラシドン単剤療法の6週間プラセボ対照二重盲検検証的試験(ELEVATE試験)の成績	
		P15-3	10265	坪井貴嗣	杏林大学医学部精神神経科学教室	何が双極性障害患者における非寛解状態と関連した因子なのか?	
		P15-4	10080	菊地悠平	慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室	“気分安定薬”という分類とその適応疾患とのギャップ	

発表日	セッション名	セッションタイトル	演題番号	登録番号	氏名	1.筆頭著者の所属機関名	日本語演題名
11月15日(木)	ポスター16	気分安定薬・抗てんかん薬	P16-1	10123	永井五洋	琉球大学大学院精神病態医学講座	治療2週目のlamotrigine血漿濃度高値がlamotrigineによる皮疹発現と関連する
			P16-2	10151	中村明文	琉球大学大学院精神病態医学講座	難治性うつ病性障害に対するlamotrigine強化療法において、lamotrigine投与量予測に有用と考えられるnomogramの妥当性を検証する
			P16-3	10191	香川祥子	琉球大学大学院医学研究科精神病態医学講座	難治性うつ病性障害におけるラモトリギン強化療法の治療反応性とUGT1A4 142T>G遺伝子多型との関連
			P16-4	10246	中島亨	杏林大学 保健学部 臨床心理学科	リチウム投与が中枢性無呼吸および閉塞性無呼吸の出現に関係したと考えられる1例
			P16-5	10194	塩崎一昌	横浜市総合保健医療センター地域精神保健部	抗てんかん薬による治療で高齢初発てんかん患者の発作間欠期でてんかん性放電と認知機能が改善した
	ポスター17	自閉症・ADHD等	P17-1	10091	若松昭秀	ヤンセンファーマ株式会社 メディカルアフェアーズ本部	OROS-メチルフェニデート(コンサータ^R)^錠の長期使用に関する特定使用成績調査結果における安全性情報、及び患者背景と有効率の検討
			P17-2	10122	野村健介	島田療育センター	注意欠如・多動症患者における外来予約の直前キャンセル率:診療録調査
			P17-3	10195	佐藤敦志	東京大学医学部付属病院小児科	mTOR阻害剤を使用中の結節性硬化症患者における自閉症症状の変化
			P17-4	10244	折目直樹	新潟大学医歯学総合病院精神科	児童・思春期患者において向精神薬服用が安静時心拍数に与える影響
			P17-5	10012	向井馨一郎	兵庫医科大学精神科神経科学講座	汚染/洗浄強迫の汚染の方向性による異種性の検討 第2報
	ポスター18	身体合併症・代替医療等	P18-1	10200	吉沢和久	秋田大学大学院医学系研究科医学専攻病態制御医学系精神科学講座	精神科外来患者における便秘症治療薬の処方状況
			P18-2	10215	米澤健	紅葉病院薬剤部	療養型精神科病院におけるピコスルファートナトリウム処方の適正化に向けた取り組み
			P18-3	10225	高橋香央里	公益財団法人 東京都医学総合研究所 依存性薬物プロジェクト	プロポフォール投与後の効果部位濃度におけるCYP2B6の遺伝子多型の影響
			P18-4	10007	猪飼紗恵子	慶應義塾大学精神・神経科学教室	統合失調症患者におけるヨガ療法反応者の特徴:3無作為化比較試験の再解析
			P18-5	10116	本山美久仁	兵庫医科大学精神科神経科学講座	グルテン制限食が有効であった治療抵抗性統合失調症の一例
	ポスター19	大規模調査・臨床研究	P19-1	10032	スーシンシア	COS & Associates Ltd.,	STEP-BD研究における躁とうつ症状に関するネットワークモデル
			P19-2	10103	市橋香代	東京大学医学部附属病院精神神経科	統合失調症治療における施設群ごとのQuality Indicatorの検討:精神科医療の普及と教育に対するガイドラインの効果に関する研究(EGUIDE)より
			P19-3	10202	松井佑樹	医療法人明心会仁大病院	EGUIDEプロジェクトからの報告~過去2年間のガイドラインの教育効果と質の考察~
			P19-4	10144	津野良子	国立精神・神経医療研究センター病院臨床研究推進部	多施設・国際共同臨床研究を円滑に進めるためにCRCが行った実施体制構築について~認知機能改善を目的とした臨床研究の事例をもとに~
			P19-5	10166	古田島浩子	東京都医学総合研究所精神行動医学研究分野依存性薬物プロジェクト	覚せい剤依存症患者におけるイフェンプロジルの効果検討とfMRIを基点としたバイオマーカーの開発:二重盲検無作為化比較試験(研究プロトコル)

発表日	セッション名	セッションタイトル	演題番号	登録番号	氏名	1.筆頭著者の所属機関名	日本語演題名
11月16日(金)	ポスター20	基礎研究1	P20-1	10089	平松愉加	名城大学薬学部・大学院薬学研究科病態解析学I	ストレス負荷による社会性行動障害の発現におけるプロテインキナーゼCによるセロトニン伝達制御機構
			P20-2	10085	岩井孝志	北里大学薬学部薬理学研究室	新規 α ₂ δ リガンドmirogabalinは反復拘束ストレスによる精神機能障害の誘導を抑制する
			P20-3	10263	濱田祐輔	星薬科大学薬理学研究室	ストレス応答性視床下部CRH神経の賦活化による血液中小分子の変化
			P20-4	10220	小池伸	明治薬科大学 分析化学研究室	老齢マウス脳内におけるメチルグリオキサール濃度の測定
			P20-5	10111	山岸愛実	星薬科大学薬物治療学研究室	Streptozotocin 誘発糖尿病マウスの恐怖記憶の変化に対する脳内 L-lactate および AMP 活性化プロテインキナーゼの関与
			P20-6	10226	村田雄介	福岡大学薬学部臨床薬物治療学	リバウンド睡眠による海馬ニューロン新生増加作用は脳内セロトニンを介して発現する
	ポスター21	基礎研究2	P21-1	10231	山口拓	長崎国際大学薬学部薬物治療学研究室	幼若期薬理的ストレス負荷によって惹起される成長後の抑うつ様行動と縫線核内GABA神経系の機能異常
			P21-2	10128	横森将輝	帝京大学理工学部バイオサイエンス学科	自閉症関連分子SHANK3アイソフォームにおけるスプライシングバリエーションの解析
			P21-3	10086	田中美歩	国立精神神経医療研究センター 知的・発達障害研究部	バルプロ酸投与によるSrrm4部分欠損マウスの自閉スペクトラム症様行動と睡眠指標の変化
			P21-4	10040	金城智也	順天堂大学医学部精神医学講座	妊娠中のバルプロ酸投与は出生仔ラットの歯状回において、認知機能と神経新生の変化に影響する。
			P21-5	10135	前田健二	大塚製薬株式会社創薬基盤研究所	新規抗精神病薬ブレクスピプラゾール(レキサルティ)の<I>in vitro</I>薬理プロファイル
			P21-6	10129	天田直樹	大塚製薬株式会社中枢神経疾患研究所	新規抗精神病薬ブレクスピプラゾール(レキサルティ)の<I>in vivo</I>薬理プロファイル
	ポスター22	基礎研究3	P22-1	10127	大木雄太	大塚製薬株式会社中枢神経疾患研究所	ブレクスピプラゾール(レキサルティ)の認知機能障害モデルにおける効果の検討
			P22-2	10124	鈴木幹生	大塚製薬株式会社中枢神経疾患研究所	ブレクスピプラゾール(レキサルティ)のマウス強制水泳試験及びガラス玉覆い隠し試験における抗うつ薬及び抗不安薬との併用効果
			P22-3	10017	宮内政徳	大日本住友製薬株式会社	非定型抗精神病薬プロナンセリンのドパミンD3受容体拮抗作用を介したフェンサイクリジン誘発認知障害の改善
			P22-4	10095	小山剛志	ヤンセンファーマ株式会社	パリペリドンパルミチン酸エステル(ゼプリオン^R)</SUP>の製造販売後の医薬品安全性監視活動において報告された副作用についての報告
			P22-5	10145	出雲信夫	横浜薬科大学総合健康メディカルセンター	セルトラリンは卵巣摘出マウスによる運動量の低下を改善する
			P22-6	10136	張タン	金沢大院・薬・薬理	コカイン関連記憶の獲得および想起における内側前頭前野グルタミン酸作動性ニューロンの役割
			P22-7	10021	植村富彦	医療法人財団緑雲会多摩病院	過去にメージュ(Meige)症候群を呈した難治性統合失調症の一例
	ポスター23	基礎研究4	P23-1	10142	日高洋介	熊本大学大学院生命科学研究部神経精神医学分野	5HTTLPRのハイスループットジェノタイピング法による新規多型の同定
			P23-2	10102	出山諭司	金沢大学医薬保健研究域薬学系薬理学研究室	即効性抗うつ作用発現におけるBDNF-VEGFシグナル相互作用の役割
			P23-3	10094	山脇洋輔	広島大学大学院医歯薬保健学研究科細胞分子薬理学	グリア細胞間相互作用におけるイミプラミンの抗炎症効果の検討
			P23-4	10227	野本佳介	ファイザー株式会社エッセンシャルヘルス事業部門メディカルアフェアーズ統括部	うつ病・うつ状態に対するSNRIの処方実態把握ならびに薬剤選択意向把握のためのインターネットアンケート調査
			P23-5	10201	宮崎健祐	弘前愛成会病院精神科	タンドスピロンによる横紋筋融解症が疑われた思春期女子例
P23-6			10084	寺田一樹	福岡大学薬学部創剤学教室	PC12細胞におけるNGF誘発性神経突起伸長作用に対するリバスチグミンの増強機構	

発表日	セッション名	セッションタイトル	演題番号	登録番号	氏名	1.筆頭著者の所属機関名	日本語演題名
11月16日(金)	ポスター24	基礎研究5	P24-1	10236	武田琴水	福岡大学薬学部臨床疾患薬理学	バルプロ酸ナトリウムによる神経細胞のApoE細胞内取り込み増加
			P24-2	10178	西澤大輔	東京都医学総合研究所依存性薬物プロジェクト	ゲノムワイド関連解析(GWAS)による冷水誘発疼痛試験におけるフェンタニルの鎮痛効果と関連する遺伝子多型の同定
			P24-3	10074	伊藤貴博	名城大学薬学部・大学院薬学研究科病態解析学I	情動・認知機能におけるグリア誘導性ニューロン移動関連分子のアストロタクチン2の役割
			P24-4	10140	中武優子	東京理科大学薬学研究科疾患薬理学研究室	心理的ストレスと身体的ストレスはマウスの行動と免疫系に異なる影響を及ぼす
			P24-5	10138	古瀬民生	理化学研究所バイオリソース研究センターマウス表現型解析開発チーム	ASDモデルマウスに対するオキシトシン投与効果の評価を目的とした表現型解析プラットフォームの開発(2): 既存モデルマウスを用いた検証
			P24-6	10133	山田郁子	理化学研究所バイオリソース研究センターマウス表現型解析開発チーム	ASDモデルマウスに対するオキシトシン投与効果の評価を目的とした表現型解析プラットフォームの開発(1): コントロールデータの収集
	ポスター25	基礎研究6	P25-1	10097	中島一恵	広島大院・医歯薬保健学研究科・薬効解析科学	神経障害性疼痛モデルマウスにおける不安・うつ様行動はグリチルリチンの慢性投与で改善される
			P25-2	10212	ベナー聖子	東京大学医学部附属病院こころの発達診療部	全自動集団飼育型行動試験装置を用いたマウス行動解析への体内埋込型プログラマブル・ポンプによる投与法の確立と、オキシトシン投与が集団行動に及ぼす影響評価への応用
			P25-3	10156	船田正彦	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所	合成カンナビノイドAM2201による痙攣発現の解析: グルタミン酸神経系の役割
			P25-4	10090	畠山太一	筑波大学大学院人間総合科学研究科	背側海馬NMDA受容体拮抗薬投与がラットの自発的物体再認における時間順序記憶に及ぼす効果
			P25-5	10213	千葉秀一	岡山理科大学獣医学部獣医学科	発達に伴った社会報酬反応の減弱と前頭野トランスクリプトームの変化
			P25-6	10171	吉川雄朗	東北大学大学院医学系研究科機能薬理学分野	脳内ヒスタミン除去機構を標的とした創薬研究: ヒスタミン代謝酵素HNMTの機能解明と阻害剤探索
			P25-7	10167	口岩俊子	鹿児島純心女子大学大学院人間科学研究科	鎮痛消炎剤による攻撃行動抑制: すべての鎮痛消炎剤に鎮静効果があるか?
	ポスター26	基礎研究7	P26-1	10118	藤田雅代	公益財団法人東京都医学総合研究所依存性薬物プロジェクト	ドーパミン欠乏マウスを用いた各種自発行動におけるドーパミン依存性の解析
			P26-2	10117	井手聡一郎	東京都医学総合研究所依存性薬物プロジェクト	NMDA受容体GluN2Dサブユニット欠損マウスにおける<I>D</I>-ケタミンの持続的抗うつ効果ならびに認知機能阻害効果の消失
			P26-3	10216	原隆人	北海道大学薬学部薬理学研究室	ニューロテンシンによる背外側分界条床核内II型神経細胞活性化
			P26-4	10126	中村-丸山恵美	川崎医科大学生理学2教室	うつ様モデルマウスにおけるECSの効果に対するリアノジン受容体の関与
			P26-5	10137	佐藤大介	星薬科大学薬理学研究室	側坐核D1-MSNの特異的活性制御による疼痛閾値の変化
			P26-6	10264	須田雪明	星薬科大学薬理学研究室	黒質ドーパミン神経細胞におけるCOMTの発現増加がパーキンソン病症状に関わる運動機能障害に及ぼす影響
			P26-7	10130	清水仁美	帝京大学理工学部バイオサイエンス学科	ネオニコチノイド系薬剤がマウスの脳に対するゲノムDNAのメチル化および遺伝子発現におよぼす影響について
	ポスター27	基礎研究8	P27-1	10069	松井崇晃	名古屋大学大学院医学系研究科医療薬学・医学部附属病院薬剤部	リン酸化プロテオミクス解析による新規Reelinシグナルの同定
			P27-2	10031	伊藤賢伸	順天堂大学医学部精神医学講座	電気痙攣刺激(ECS)による血液脳関門の透過性変化に関する研究
			P27-3	10087	大岡静衣	公益財団法人東京都医学総合研究所依存性薬物プロジェクト	<I>STAT4</I>遺伝子の一塩基多型rs6738544 および <I>STAT6</I>遺伝子の一塩基多型rs2298170はニコチン依存と統計的に有意に関連する
			P27-4	10207	井上理恵	公益財団法人東京都医学総合研究所 依存性薬物プロジェクト	腹腔鏡補助下大腸結腸切除術後鎮痛薬感受性ゲノムワイド網羅的多型解析で上位候補となった一塩基多型に関する外科的顎矯正手術後鎮痛薬感受性との関連
P27-5			10051	早田敦子	大阪大学大学院連合小児発達学研究科附属子どものこころの分子統御機構研究センター	マウス新生仔へのプロスタグランジンD2受容体DP1作動薬による神経細胞の形態や行動への影響	
P27-6			10006	白田稔則	山形大学医学部精神医学講座	健常者における高神経症傾向のBDNF遺伝子高メチル化との関係	